

キャリア形成プログラムについて

和歌山県福祉保健部健康局医務課

【1】地域派遣対象の診療科拡大について（案）

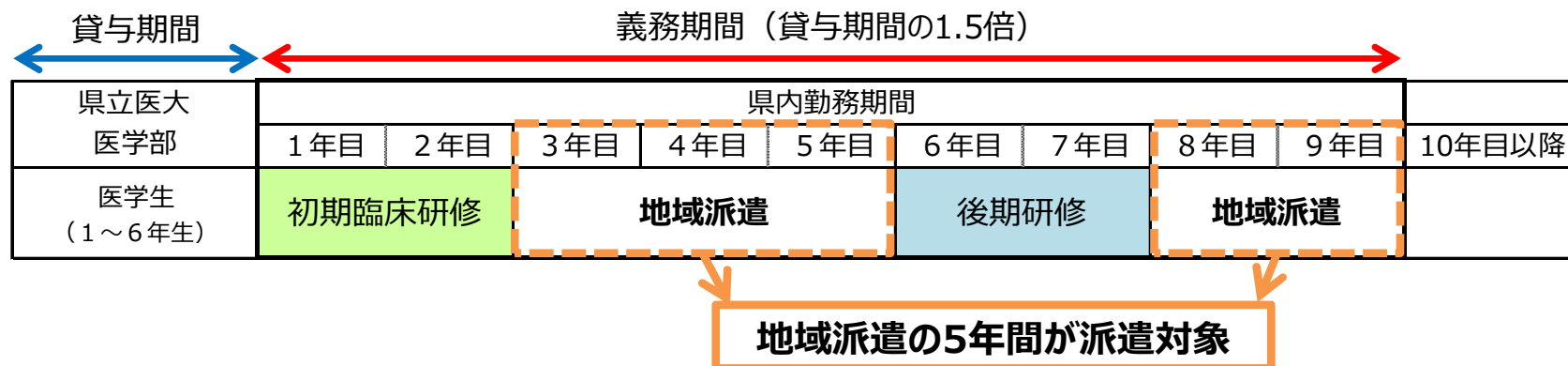
地域派遣時における診療科について

- 原則、**内科**での派遣とする
- 県内公立病院で特に医師が不足している**産婦人科・精神科**については、例外的に内科以外での派遣を認める
（産婦人科：H28年度から派遣開始、精神科：H29年度から派遣開始）

不足する診療科医師の状況を踏まえ、派遣対象の診療科に「小児科」を追加

募集枠	定員	派遣対象の診療科
和歌山県立医科大学地域医療枠	10名	内科 ※例外的に、産婦人科・精神科・ 小児科 も認める
近畿大学医学部和歌山県枠 [へき地医療コース]	10名 (R2から2名)	
自治医科大学	2～3名	内科 ※例外的に、産婦人科も認める

【地域枠医師等の義務期間の勤務イメージ】



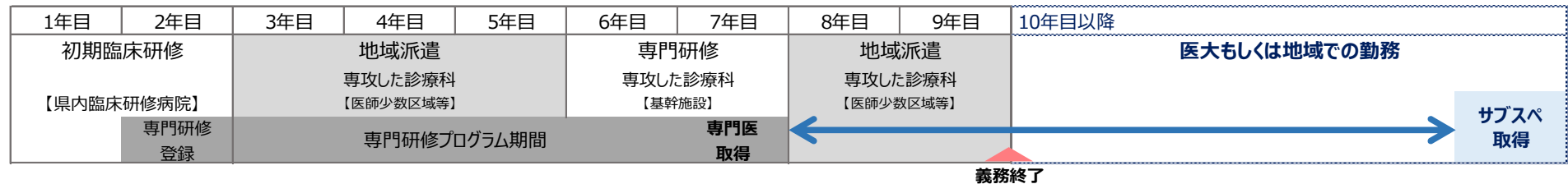
【2】地域枠医師におけるキャリア形成プログラムの充実（案）

産科・婦人科（和歌山県立医科大学附属病院）

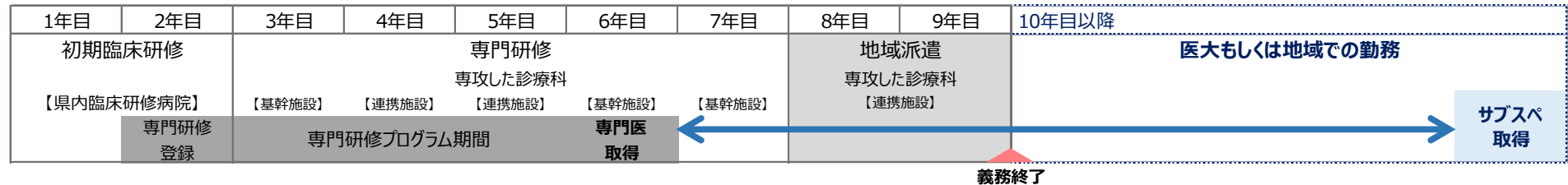
課題

産婦人科専門医の取得後、婦人科内視鏡など詳細な専門分野（サブスペシャリティ領域）の認定医となるために、県立医大を含め県内医療機関の勤務では早期取得が困難

● 特定診療科コース 県民医療枠B・C、地域医療枠（産婦人科専攻）



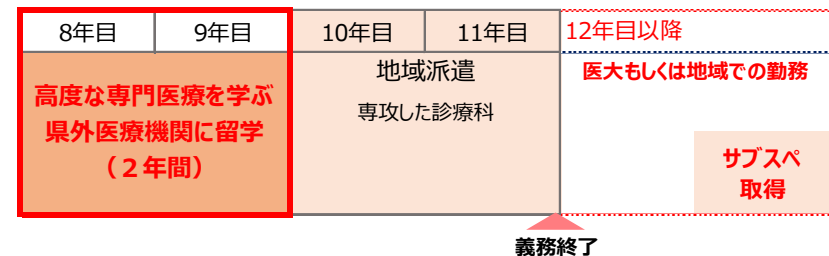
● 専門性重視コース 県民医療枠A（令和4年度までの県民医療枠）



変更案

詳細な専門分野認定医の早期取得に向け、産婦人科専門医を取得後、「地域派遣」もしくは「県外留学」をコース選択できる仕組みを創設し、義務年限明けの県内定着につなげていく

- （1）「特定診療科コース」、「専門性重視コース」の両コース対象
- （2）卒後8年目から「地域派遣」もしくは「県外留学」をコース選択
「県外留学」を選択した場合、地域での勤務義務を猶予
- （3）県外留学が2年の場合の義務期間：卒後9年間→11年間



小児科・神経精神科（和歌山県立医科大学附属病院）

▶▶▶ 高度な専門技術習得等のため、同様に選択できる仕組みを創設